

2015年1月22日(木) サーコム・ジャパン株式会社

サーコム・ジャパン、IoT/M2M機器の製造委託を手軽にする OEMソリューション「ジェイワン」を発表 製品第1弾はIoT Camera「RC8110J」

IoT/M2M関連機器製造メーカーのサーコム・ジャパン株式会社(東京都品川区、代表取締役CEO 伊藤信久、以下「サーコム・ジャパン」)は、2015年1月22日(木)より国内IoT/M2M市場向けにOEMホワイトボックスブランドの「ジェイワン」を使ったOEMソリューションを発表し、同時に製品第1弾としてIoT Camera「RC8110J」の提供を開始します。

【ポイント】

- ①日本市場のニーズに合わせたビジネスモデルによるOEMソリューションの提供
- ②製品第1弾は欧米で注目されているIoT Camera(ネットワークカメラ)
- ③今後もさまざまな製品ラインナップを追加予定

【ロゴ】



【ジェイワンについて】

サーコム・ジャパンは、欧米市場で培ってきた無線/ブロードバンド通信技術を応用し、新しい市場として注目されるIoT/M2Mを主要戦略の1つとしています。近年この分野においてもコストの安さを求める日本企業による海外メーカーへの製造委託が進んでいますが、EMSやODMの形態は製品1台ごとの価格が安くても最少の製造数量が大きく、スモールスタートを好む慎重な日本市場には発注が難しい現実がありました。これを受けて発表された「ジェイワン」は最少10個から購入可能なOEMのホワイトボックス品でありながら、お客さまのご要望に応じたカスタム開発による新サービス、既存サービスとの連携など、機能の追加(オプション)が可能です。

第1弾のIoT Cameraに続き、各種センサー類やゲートウェイ、家電制御コントローラーなど、さまざまな製品ラインナップの拡充を予定しています。販路は量販店などを経由する個人向けの流通ではなく、代理店経由または直販になります。

業態	メリット	デメリット
ODM	<ul style="list-style-type: none">・1台当たりの価格が安い・要望通りのオリジナル製品	<ul style="list-style-type: none">・開発の費用と手間が必要・数量が大きい
OEM	<ul style="list-style-type: none">・少ない台数から購入可能・開発の費用と手間が不要	<ul style="list-style-type: none">・台数が多くなると割高・不要な機能が付いている、必要な機能が付いていない可能性

→ジェイワンはOEMとしてスモールスタートしつつ追加開発でODMのメリットも享受可能

2015年1月22日(木) サーコム・ジャパン株式会社

【IoT Cameraについて】

IoT Camera「RC8110J」はIoT時代の到来に先駆けたネットワークカメラ製品で、IoT ゲートウェイ、各種センサー、ウェアラブルデバイスなどの機器と連携できます。また、簡易的なセキュリティ、見守り用途だけでなく、映像のモニタリング機能を軸として他のソフトウェアとの組み合わせにより、さまざまなサービスの実現が可能になります。BtoB分野では業務の効率化・最適化によるコスト削減、BtoC分野では潜在顧客の獲得と顧客情報の分析による収益の向上を実現します。

【サービス例】

- ① 宅外からのスマートフォンを介した見守り機能
- ② 店舗の来店者導線分析による商品陳列の最適化
- ③ 工場の導線の分析によるコスト削減

【製品画像】

「RC8110J」



製品の詳細はこちらからご覧いただけます。

「ジェイワン」ブランドページURL <http://www.sercomm.co.jp/j-one/>

「RC8110J」製品詳細ページURL <http://www.sercomm.co.jp/j-one/iot-network/rc8810j.html>

また、製品ホワイトペーパーはこちらからダウンロードしていただけます。

ダウンロードページURL <http://www.sercomm.co.jp/tech/press-release/20150122.html>

※ 本書中の登録商標及び商標はそれぞれその所有者に帰属します。

＜本件に関するお問い合わせ＞

サーコム・ジャパン株式会社 担当:角田 隆之

東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル21F

TEL: 03-6433-0061 FAX: 03-6433-0062 pr@sercomm.co.jp